

自殺防止講演会で涙！

「母からの贈りもの」

松崎運之助さん

みちのすけ

6月27日に自殺防止講演会が村民会館大ホールで行われました。主催はNPO法人ホップステップげんきと村で、官民協働をして4年目。村内外から約145人の参加がありました。

講師は松崎運之助さんで、「母からの贈りもの」と題し、夜間中学校での教員経験や今までの経験から、たくさんの人たちと関わったエピソードが話されました。その1つ1つから人とのつながりの温かさが感じられ、参加者からは笑顔や涙がこぼれた講演でした。

参加者からは、「今だからこそ、つながりを大切にしてほしいと思った」「感動した」等の声が聞かれました。講演後は、講師に話しかける村民の方もあり、大変反響のあった講演でした。

村では、今後も地域や人と



のつながりに着目し、自殺防止の取り組みを継続していきます。村民のみなさんにはご理解、ご協力をお願いします。



ホタルを見て、健康づくり
第13回 村民健康ウォーキング

村の健康づくり推進協議会運動部会では、上川口、下川口集落などの協力を得て、村民健康ウォーキングを開催しました。

7月3日は、ホタルを楽しみに申し込みした子ども連れや家族や仲間同士など、総勢84名で歩きました。ホタルの生息地では、たくさんホタルが参加者を出迎えてくれました。参加者からは、「ホタルがいたから、結構奥まで歩いたね」「家族みんなで歩いてホタルが見られ、よい思い出になった」などの声が聞かれました。

県民の歩数は、男女とも全国ワースト上位です。運動部会では、村民の歩くきっかけづくりとして「村民健康ウォーキング」等の取り組みを継続していきますので、ぜひご参加ください。

上土沢で健康教室開催！
集落の元気のために

6月14日、上土沢集落センターで小学生親子と老人クラブ合同の健康教室が開催され、約60人が参加しました。

この教室は、地域の茶の間が主催して行われ、今回が初めての取り組み。健康講話では、役場の竹田管理栄養士が高血圧予防の食生活や朝食の大切さ、心の健康について話をしました。参加者の健康に関する意識は高く、熱心に話を聞いていました。

昼食には、上土沢の食生活改善推進員が調理した夏野菜カレーとらっきょうサラダ、スイカが振る舞われ、大勢の人がおかわりをして大好評でした。

上土沢集落の地域の茶の間では、集落の健康増進のため、今後もこの教室を継続して行う予定です。





犬島保育園で 園庭草とりボランティア

大島地区老人クラブ

大島地区老人クラブ(会長：井深耐威知)では、毎年犬島保育園で園庭の草取りなどのボランティア活動を行っています。今年は、会員25名が参加して園児たちと園庭をきれいにしました。

作業後には集会が行われ、園児からお礼に歌が披露され、いっしょに踊りや手遊びをして、楽しいひとときを過ごしました。

参加した会員からは、「子どもとふれあうことが少なくなったので、本当に楽しい時間が過ごせた」と笑顔で話してくれました。

井深会長から園児に、「きれいになった園庭で元気に遊んでくださいね」と声をかけると、園児は元気に返事をしていました。

大島地区老人クラブでは、今後もこの活動を続けていく予定です。



2年連続 親子で全国大会 出場決定!

小池優佳さん(関川小6年・下関)が、6月28日に豊栄総合体育館で開催された「第12回全国小学生学年別柔道大会県予選」に出場し、6年生女子45kg超級で見事優勝しました。昨年は、初の全国大会で5位。しかし、昨年の結果に満足していない優佳さんは、全国優勝を目指し気迫あふれる稽古をしていました。

また、優佳さんのお母さんで、関川村スポーツ少年団柔道の指導者である小池由美子さん(下関)も昨年に引き続き全国小学生学年別柔道大会の新潟県チーム女子監督としてチームを率います。

親子で出場する全国大会は、8月30日に山梨県で行われます。

なお、優佳さんは新潟県北信越強化指定選手とし、由美さんは県育成委員として石川県で行われる北信越強化合宿にも共に参加する予定です。

平成27年度は2つの事業が採択されました



7月12日、農村文化交流センターの～むを会場に「平成27年度キラリと光る地域活性化事業公開プレゼンテーション・審査会」が行われ、会場には約30人が集まり提案者の発表を興味深く聞いていました。今回提案のあった2事業は、下記のとおり採択されました。

なお、今年度は1次募集に応募がなく、これが2次募集となりました。今後の受付は行わない予定です。

事業名	団体名	交付決定額
ここからスタート	NPO法人 ここスタ (理事長 鈴木久子・下関)	心の病からの自立支援活動を行っていて、心のケアを行うシンポジウム開催に対して209千円の交付決定
Spread the Sparkle プロジェクト	Kajika English Valley (代表 川崎哲也・鮎谷)	村の魅力を広く海外まで発信するため、英語の情報誌を作成し、身近な村のことを英語教材にすることで中高生の英語力向上を図る事業に1,011千円の交付決定